

平久保小学校跡地及び水産研究所跡地の概要

1. 平久保小学校跡地及び水産研究所跡地の位置

平久保小学校跡地がある北部地域は、石垣島の平久保半島を中心とした豊かな自然環境を有しており、中央部は山地が連なり、沿岸域の大半は台地・段丘となっています。平久保小学校跡地は、その最北端近くに位置し、石垣島北部の平久保地区、久宇良地区、平野地区、吉野地区を校区としていました。

水産研究所跡地がある西部地域は、北部地域と同様に山地が多く、沿岸域は台地・段丘が形成されています。この西部地域に位置する水産研究所跡地は、東シナ海の穏やかな海に面し、近隣には川平湾や玉取崎などの観光地を有するなど観光客の周遊ルート上に位置します。また平久保半島の付け根に位置し、北部地域への玄関口とも位置付けられます。

【石垣市のまちの概観】

- ・島外との接点となる離島ターミナルから空港間に居住、観光ともに機能が集約し、それ以外のエリアには大自然が広がっています。
- ・観光施設は中心市街地より 20～30 分圏内に分布しており、観光農園や体験型観光（製陶、織物、塩、など）が多くみられます。
- ・島の北部にはプライベート感あふれるビーチが点在しています。

【八重山諸島の中での石垣島の立ち位置】

- ・自然の個性豊かな八重山諸島の玄関口としての役割を果たしています。

【石垣市の魅力】

- ・きれいな海とおおらかな山、圧倒的なスケールの手付かずの自然があり、そこにはゆっくりとした時間が流れ、『非日常』を味わうことができる環境です。
- ・シュノーケリング、マングローブカヤック、陶芸、製塩など『自然と触れ合うアクティビティ』が充実しており、魅力的な観光資源があります。
- ・石垣牛、牛そばなど『石垣特有のグルメ』と、海産物、熱帯果物などの沖縄エリア特有のグルメを味わうことができます。



平久保灯台



玉取崎展望台



浦底湾



ヤエヤマヤシ群落



2. 石垣市北部地域・西部地域活性化基本構想について

石垣市では、対象施設のある北部地域・西部地域の活性化をめざし、令和 6 年度に基本構想を策定しました。この中で、北部地域・西部地域のミッション及び将来ビジョンを以下のように設定するとともに、これを実現するための重点プロジェクトを選定しています。この重点プロジェクトが「平久保小学校跡地活用事業」及び「水産研究所跡地活用事業」です。

(1) 将来ビジョン

《北部地域・西部地域のミッション》

自然環境の保全と生活環境の向上を調和させ、
豊かな自然環境を市民や観光客と共有する

《北部地域・西部地域の将来ビジョン》

地域経済が循環し、コミュニティが存続する地域づくりで、
豊かな自然と歴史・文化を未来に引き継ぐ



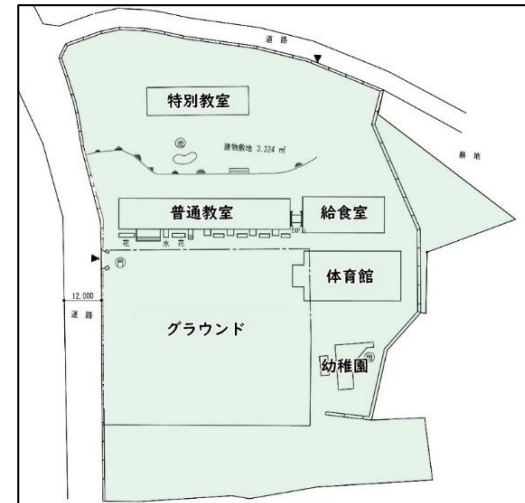
(2) 将来ビジョン達成のための重点プロジェクトについて

重点プロジェクトのコンセプト等は以下のとおりです。

重点プロジェクト A：平久保小学校跡地活用事業

【コンセプト】 地域住民の新しい居場所づくり

【現状】 北部地域：平久保小学校跡地



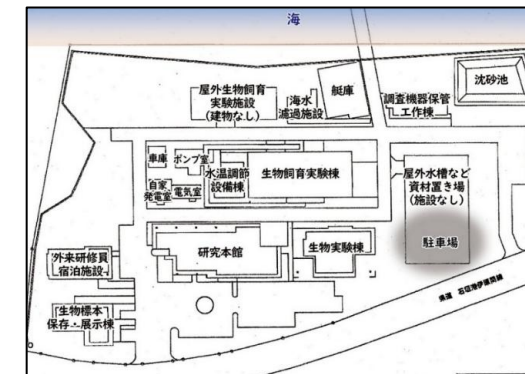
【基本構想で想定した機能】

将来導入機能	施設導入イメージ
①地域コミュニティ・地域福祉	コミュニティ施設、地域福祉施設、受付等
②料理	シェアキッチン、食堂、調理場 等
③農産物加工	農産物加工・植物工場 等
④物産、飲食	農産物直売所、飲食施設・フードコート、物産（マルシェ）、工房・体験等のテナント（地域主導型）等
⑤情報提供・休憩・受付	観光案内、情報発信、休憩所、コミュニティスペース 等
⑥屋外イベント、公園	地域行事、野外イベント、運動場、公園、農産物生産・農業体験 等
⑦サテライトオフィス・キャンパス	サテライトオフィス、サテライトキャンパス、宿泊施設、セミナー・コミュニティルーム 等

重点プロジェクト B：水産研究所跡地活用事業

【コンセプト】 絶好の海のロケーションを生かした地域ブランド拠点・北部への玄関口

【現状】 西部地域：水産研究所跡地の現状



【基本構想で想定した機能】

将来導入機能	施設導入イメージ
①農産物加工、地場産品生産加工	生産加工施設（農産物、地場産品等）等
②海産物供給	海産物供給施設 等
③サテライトキャンパス・オフィス	サテライトキャンパス、研究所、学校・観光客供用施設 等
④地域コミュニティ・地域福祉	地域の施設（コミュニティ施設）等
⑤地場産品や農産物の直売所、道の駅	道の駅、直売所 等
⑥情報提供・休憩	飲食スペース、案内所、道の駅、直売所等
⑦飲食	地場産品を使った飲食施設、サービス施設、BBQ 施設 等
⑧マリンレジャー	海洋レジャー及び関連施設 等
⑨海浜公園	飲食施設・スペース、海浜公園 等

2. 施設の概要



3. 今後の事業の進め方

令和 7 年度は、事業者の皆様へヒアリング等を実施しながら、基本計画の検討を進めます。

令和 8 年度は、今年度の検討結果を踏まえ、事業費や事業手法、事業者の公募条件等を検討する予定です。

なお、本件の検討過程では、別途、地域住民の皆様を対象に説明会を開催します。

